

輸精管結紮ノ辜丸内分泌ニ及ボス影響ニ就テ

Ueber den Einfluss der Unterbindung des Samenleiters
auf die innere Sekretion des Hodens.

(其ノ五)

京都帝國大學醫學部外科伊藤教授ノ「クリニク」ヨリ

二 川 元 治 郎 述

次ニ余ハ第七例トハ聊カ趣ヲ異ニシ、術後其ノ性欲竝ニ其ノ他ノ身體的、精神的機能ノ恢復速度ニ於テ、著シク遅キ兩例、即チ兩側ニ手術ヲ行ヘルモノ及ビ一側ニ手術ヲ行ヘルモノニ就キテ其ノ代表例ヲ舉グベシ。

第十例 其ノ一 青年白鼠第二十五號 年齡生後十箇月五日

其ノ二 同 鼠第二十六號 同 腹

對 照 同 鼠第二十七號 同 腹

實驗前ニ於ケル生物學的所見

實驗前三箇月ニ互ル觀察ニヨレバ、青年白鼠第二十五號、第二十六號及ビ對照鼠ノ三者ハ共ニ良ク成熟シ、性欲ハ最高度ヲ保チテ陰莖ハ常ニ半バ勃起シ、成熟雌鼠ニ對シテ隨時交尾ヲ行ヒ、而シテ盛ニ化粧セリ。食慾旺盛ニシテ一日平均一・七食匙ヲ攝取ス。活潑ニシテ外界ニ對スル反應鋭敏ナリ。毛髮ハ雪白ニシテ光澤アリ、且柔軟ナルヲ見ル。皮下脂肪組織竝ニ筋肉其ク發達セリ。糞便中ニ寄生蟲卵ヲ證明セズ。且皮膚病ニ罹レルヲ認メズ。

大正十年二月十六日午後一時二十分ヨリ同一時四十分ノ間ニ於テ手術ヲ行フ。其ノ一青年白鼠第二十五號（以下略シテ單ニ第二十五號ト稱ス）ハ左側辜丸、副辜丸間ヲ結紮シ、其ノ二青年白鼠第二十六號（以下略シテ單ニ第二十六號ト稱ス）ハ兩側辜丸、副辜丸間ヲ結紮ス。體重第二十五號一五〇瓦、第二十六號一四〇瓦、對照鼠一五〇瓦。

開腹所見

第二十五號

兩側辜丸ハ小ナル雀卵大ニシテ彈力性硬。白膜下全面ニ淡紅色ヲ呈セル細精管ノ走行像ヲ認メ、血液ニヨリテ其ク灌流セラルルヲ見ル。副辜丸及ビ辜丸附屬脂肪體之ニ準シテ其ク發育シ、後者ハ薄キ帶紅黃色ヲ呈セリ。精囊ハ多數ノ截痕ヲ有セル小葉狀ノ囊ニシテ、長徑約二・五糎、幅徑（最廣）約四分ノ三糎ニシテ、良ク充實シ、帶紅白色ニシテ血液ニヨリテ其ク灌流セラル。攝護腺ハ大リ約豌豆大ノ一・五倍位ニシテ、表面顆粒狀ヲ呈シ、蠟燭半透明ニシテ良ク充實ス。血液ニヨリテ其ク灌流セラル。皮下脂肪組織及ビ筋肉其ク發育セリ。

第二十六號

辜丸，副辜丸竝ニ二次的性徴ノ肉眼的所見ハ略々前者ト同様ナレドモ，各臓器ノ容積ニ於テ異ナル處アルガ故ニ，左ニ之ヲ記述スベシ。

兩側辜丸一小ナル雀卵大。兩側精囊一長徑約二粒，幅徑（最廣）三分ノ一程。攝護腺一豌豆大ノ一・二倍。

手術後第一日所見（二月十七日）

手術ニヨリ疲勞ニヨリテ元氣稍々悪シ。サレド已ニ籠中ヲ徘徊セリ。攝食量少ク，牛乳及ビ水ヲ多ク飲ム。

手術後第二日所見（二月十八日）

元氣次第ニ恢復ス，食慾亦之ニ準セリ。

手術後第四日所見（二月二十日）

元氣益々恢復ス，食慾亦之ニ倣フ。體重ハ兩者共一三〇瓦ニシテ，手術後聊カ減少セルガ如シ。辜丸，副辜丸間ヲ結紮セル側ノ辜丸ハ，第二十六號ニ於テハ已ニ左，右共陰囊内ニ戻リテ歩行ニ際シ振搖スレドモ，第二十五號ハ尙ホ復歸セズ。

手術後第五日所見（二月二十一日）

攝食量兩者共約一・〇食匙ナリ，對照鼠二・〇食匙。陰莖第二十五號（±），第二十六號（+），對照鼠（廿）。午後七時二十分ヨリ性慾試験ヲ行フニ，兩者共配セル成熟雌鼠第二十號ニ對シテ少シモ能動的行為ニ出アズ。手術後著シク性慾低下セルヲ惟ハシムルモノアリキ。

手術後第六日所見（二月二十二日）

手術創ハ兩者共第一次癒合ヲ營メリ。攝食量第二十五號一・五食匙，第二十六號一・五食匙，對照鼠一・九食匙。體重第二十五號一三〇瓦，第二十六號一三八瓦，對照鼠一五一瓦。第二十五號ノ手術側ノ辜丸即チ左側辜丸ノ陰囊内ニ戻レリ。陰莖第二十五號（±），第二十六號（+），對照鼠（+）。

手術後第七日所見（二月二十三日）

攝食量、兩者共二・〇食匙ニシテ，漸ク食慾ノ舊位ニ復セルガ如シ，對照鼠二・二食匙。陰莖第二十五號（±），第二十六號（+），對照鼠（+）。

手術後第八日所見（二月二十四日）

元氣兩者共殆ド舊ニ復セリ，攝食量兩者共一・五食匙，對照鼠一・七食匙。陰莖第二十五號（+），第二十六號（+），對照鼠（±）。

手術後第九日所見（二月二十五日）

活潑多動ナリ。陰莖兩者共（±），對照鼠（+）。

手術後第十二日所見（二月二十八日）

攝食量第二十五號二・二食匙，第二十六號二・〇食匙，對照鼠二・〇食匙。體重第二十五號一三八瓦，第二十六號一四二瓦，對照鼠一四八瓦。毛髮ノ發生狀態ニハ變化ナク，手術ニ際シテ剃除セル腹壁ノ毛髮ハ已ニ成長シテ二分ノ一程トナリ，其ノ性状他部ノ夫レト同様ナリ。陰莖第二十五號（+），第二十六號（廿），對照鼠（+）。

性慾試驗

午後四時三十八分ヨリ同五時二十分ニ至ル。朔風強シ。

第二十五號

成熟雌鼠第二十七號(起水(-))、同第二十號(起水(-))及ビ幼若雌鼠第四十二號ヲ順次配スルニ、實驗時間十五分間中、僅ニ成熟雌鼠ノ身體ノ諸部分ヲ嗅ケルノミニテ、ヨリ以上ノ能動的行為ニ出テズ、即チ一旦手術ニヨリテ低下セル性慾ノ未ダ尙ホ恢復セザルヲ認ムルモノナリ。而シテ之ヲ前述セル一側ニ手術ヲ行ヘル第四例ノニニ比シ、著シク恢復速度ノ遅キモノアルヲ認ム。之恐ラクハ主トシテ手術側辜丸内ニ於ケル退行性變化ノ進行度ノ遲速如何ニ係ルモノナルベシ(後述スル辜丸ノ組織學的變化ノ條下參照)、何トナレバ每常手術方法竝ニ同技術ヲ等シクスルモノナルガ故ナリ。

第二十六號

第二十五號ニ配セルト同様ナル雌鼠ヲ順次配スルニ、同シク實驗時間十五分間中、僅ニ成熟雌鼠ニ對シテ能動的行為ニ出アタルノミニテ、其ノ所見全ク前者ト一致シ、同シク一旦手術ニヨリテ低下セル性慾ノ未ダ尙ホ恢復セザルヲ認ム、而シテ之ヲ前述セル第四例ノ一、即チ兩側ニ手術ヲ行ヒタルモノニ比スレバ、其ノ恢復速度ニ於テ著シク遅キモノアリ、今其ノ理由ヲ探スルニ、恐ラク前者ニ於ケルト同様ナルベシ。

對照鼠

試驗獸ニ配セルト同様ナル雌鼠ヲ同時間内ニ配スルニ、其ノ所見全ク試驗獸ト異リ、成熟雌鼠ニ對シテ烈シク能動的行為ニ出アテ、其ノ性慾度ノ著シク高キモノアルヲ見タリ、之即チ本對照鼠ノ試驗獸ニ反シ手術ヲ受ケザルニ因ル。

手術後第十四日所見 (三月二日)

兩者共活潑多動ナリ。陰莖第二十五號(-)、第二十六號(-)、對照鼠(±)。

手術後第十五日所見 (三月三日)

元氣兩者共良シ、攝食量第二十五號一・七食匙、第二十六號一・五食匙、對照鼠一・五食匙。陰莖第二十五號(-)、第二十六號(-)、對照鼠(±)。

手術後第二十日所見 (二月八日)

兩者共活潑多動ナリ、體重第二十五號一六二瓦、第二十六號一四二瓦、對照鼠一五八瓦。陰莖第二十五號(+)、第二十六號(±)、對照鼠(+)

性慾試驗

午後九時五十七分ヨリ同十一時ニ至ル。春寒シ。

第二十五號

成熟雌鼠第十七號(起水(-))ヲ配スルニ、巢ニ藁ヲ被リ居テ無關心ナリ。約二分間後、巢ヨリ出テ來リテ籠中ヲ徘徊シ、餌ヲ拾ヒテ喰フ。此ノ間雌鼠ハ藁ヲ拾ヒテ巢ノ亂レタルヲ修繕ス(試驗時間五分)。

幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ(午後十時五分)、暫ク様子ヲ窺ヘルガ、雌鼠ノ近ヅクニ及ビテ烈シク外陰部ヲ嗅ギ、直ニ一回交尾動作アリ、但シ目的ヲ達セズ、約五秒間後、再ビ一回交尾動作アリ、同シク目的ヲ達セズ、後再ビ之ヲ追跡シテ一回交尾アリ、次テ龜頭ヲ舐メ、而シテ再ビ交尾アリ、後同シク

龜頭ヲ舐メ(實驗時間最初ヨリ約一分三十秒), 次テ再ビ一分間ニ二回交尾アリ, 其ノ都度龜頭ヲ舐メ, 後巢ニ踞シテ化粧セリ. 次テ雌鼠ハ巢ノ一隅ニ踞シ, 後試験獸ノ能動的行爲ニ出テ, 之ガ外陰部ヲ嗅ガントスルモ, 不便ノ位置ヲ取レリ, 約三十秒間後, 雌鼠ノ他方面ニ赴クヲ稍々烈シク追跡セシガ, 途中ニテ之ヲ廢シ, 而シテ諸所ヲ徘徊セリ (試験時間五分).

成熟雌鼠第三十二號(起水(-))ヲ配スルニ(同十時十四分), 直ニ烈シク之ニ近ヅキテ背部及ビ外陰部ヲ嗅グ, 約三十秒間後, 巢ニ歸リテ化粧ス, 二分間後, 雌鼠ハ試験獸ニ近ヅキテ其ノ體ヲ押し退ケテ坐ス. 暫クノ後試験獸ハ籠中ヲ徘徊シ, 餌ヲ喰フ, 此ノ間雌鼠ハ散亂セル藁ヲ拾ヒテ巢ノ破レタルヲ修繕ス, 後兩者出合ヘルモ無關心ナリ (試験時間五分).

對照鼠ヲ配スルニ(同十時二十分), 數秒間外陰部ヲ嗅ゲルノミニテ爭鬪スルコトナシ (試験時間五分).

以上ノ所見ニヨリテ之ヲ觀ルニ, 第二十五號ハ其ノ性慾度已ニ手術前ノ夫レト大差ナク, 手術後第二十日にシテ初メテ交尾ヲ爲シタルヲ見ル, 而シテ其ノ最初ニ於テ配シタル成熟雌鼠第十七號ニ對シ, 殆ド能動的行爲ニ出テザリシハ, 巢ニ眠レルガ爲ニシテ, 其ノ續イテ配セル幼若雌鼠第四十二號ニ對シ, 六回ノ交尾動作ヲ爲シタルハ, 性慾恢復後初メテノ性慾試験ナルガ爲ナリ.

第二十六號

第二十五號ニ配セルト同様ナル三頭ノ雌鼠ヲ順次配セルモ, 實驗時間十五分間中, 僅ニ幼若雌鼠第四十二號ニ對シテ, 能動的行爲ニ出テタルノミニテ, 其ノ性慾ノ尙ホ著シク低キモノアルヲ見ル, 即チ之ヲ第二十五號, 即チ一側ニ手術ヲ行ヘルモノニ比シ, 其ノ性慾恢復速度著シク遅々タリ.

手術後第二十一日所見 (三月九日)

兩者共活潑多動ナリ. 體重第二十五號一六二瓦, 第二十六號一四二瓦, 對照鼠一六四五. 手術ニ際シテ剝除セル腹壁ノ毛髮ハ兩者共已ニ成長シテ一種ト成レリ. 陰莖第二十五號(±), 第二十六號(-), 對照鼠(±).

性慾試験

午後八時一分ヨリ同九時十五分ニ至ル. 春寒シ.

第二十六號

成熟雌鼠第十七號(起水(-)), 幼若雌鼠第四十二號及ビ成熟雌鼠第三十二號(起水(-))ヲ順次配スルニ, 實驗時間十五分間中, 嘗テ能動的行爲ニ出テズ, 未ダ尙ホ其ノ性慾ノ恢復セザルヲ見ル.

第二十五號

成熟雌鼠第十七號(起水(-))ヲ配スルニ(午後八時四十六分), 巢ニ藁ヲ被リテ覺醒シ居タルガ, 別ニ能動的行爲ニ出テズ (試験時間五分).

幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ(同八時五十八分), 直ニ烈シク之ニ近ヅキテ一回交尾アリ, 後龜頭ヲ舐メ, 次テ再ビ交尾アリ, 後龜頭ヲ舐メ, 次テ三度交尾アリ, 後同シク龜頭ヲ舐メ, 此ノ間最初ヨリ約一分間ナリ. 次ノ一分間ニ二回交尾アリ, 其ノ都度龜頭ヲ舐メ. 次ノ一分間ノ終リニ於テ亦一回交尾アリ, 後龜頭ヲ舐メ, 次テ化粧ス, 雌鼠ハ此ノ間散亂セル藁ヲ拾ヒテ巢ノ破レタルヲ修繕ス (試験時間五分).

成熟雌鼠第三十二號ヲ配スルニ(同九時五分)、先ニ幼若雌鼠第四十二號ヲ籠外ニ出ス時、烈シク叫ビシテ以テ、試験獸ハ少シク恐怖セルガ、今亦雌鼠ヲ配スルニ及ビテ同状態ヲ反覆セリ、サレド間モナク常態ニ復セルヲ見ル。約三分間後、試験獸ハ籠中ヲ徘徊シ、雌鼠モ亦同様ナル行動ヲ取レルガ、出合ヒテ直ニ一回交尾アリ、後龜頭ヲ舐ム。此處ヘ對照鼠ヲ投ズルニ、其ノ烈シク籠中ヲ馳リ廻レルニ近ヅキテ敏秒間之ヲ嗅ギ、其ノ走行スルニ連レテ頭部ヲ動かシ居タルガ、直ニ一回交尾アリ、サレド目的ヲ達セズ、後數秒間籠中ヲ徘徊シ、對照鼠ト出合ヘル時、再ビ一回交尾(鷄姦)アリ、後龜頭ヲ舐ム。更ニ此處ヘ成熟雌鼠第十七號ヲ投ズルニ、巢ニ横タハリ居テ動カズ、起立セシメテ檢スルニ、陰莖ハ勃起セズ、再ビ巢ニ歸リテ固有ノ姿勢ヲ取リテ横タハル、此ノ間雌鼠ハ餌ヲ喰フ(試験時間七分)。

以上ノ所見ニヨリテ之ヲ觀ルニ、第二十五號ハ昨夜ノ性慾試験ニ於テ、實驗時間十五分間中、幼若雌鼠ニ對シ五分間ニ六回ノ交尾動作アリ、内四回ハ其ノ目的ヲ達シタリシニ、本日ハ亦幼若雌鼠ニ對シテ五分間ニ七回ノ交尾(強姦)アリ、且横行セル性慾試験ニ於テ成熟雌鼠第三十二號ニ對シ、一回ノ交尾及ビ對照鼠ニ對シ二回ノ鷄姦アリ、内一回ハ其ノ目的ヲ達セズ、斯クシテ其ノ甚ダ高度ナル性慾ヲ現セルヲ見ル。而シテ此處ニ注意スベキハ、本日ハ其ノ幼若雌鼠ヲ強姦シ、其ノ對照鼠ヲ鷄姦セルコトナルガ、此ハ最初ニ配セル成熟雌鼠第十七號ニ對シ、巢ニ横タハリ居テ何等能動的行爲ニ出テザリシ後ナルヲ以テ、次テ配セル幼若雌鼠ニ對シ、敢テ之ヲ強姦スルノ態度ニ出テタルモノニシテ、且成熟雌鼠第三十二號ヲ配セル儘、更ニ配セラレタル對照鼠ニ對シ、二回ノ交尾動作ヲ行ヘルモノナリ、即チ試験獸ハ其ノ對照鼠ノ餘リニ早ク籠中ヲ馳リ廻ルニヨリテ其ノ雌雄ヲ辨別スルニ違ナカリシガ故ナリ。然リ而シテ斯クノ如キハ手術ヲ施サザル青年鼠ニ於テモ、往々ニシテ長キ禁慾強制ノ後ニ於テハ認メタルコトナリトス(「壯年鼠ニ於ケル觀察」ノ條下參照)。

實驗ヲ終リテ後兩者共生體染色ヲ行フ。

手術後第二十三日所見(三月十一日)

兩者共活潑多動ナリ。攝食量共一〇食匙、對照鼠一・五食匙。陰莖上ヨリ舉丸ヲ觸診スルニ、第二十五號ハ右側舉丸即チ非手術側ハ小ナル雀卵大ニシテ、硬度正常、手術側即チ左側舉丸ハ大サ約大豆大ニシテ硬度軟ナリ。第二十六號ハ兩側舉丸、即チ手術セル舉丸ハ大サ約大豆大ニシテ、右側ノ夫レノ左側ノ夫レヨリ稍々大ナルヲ見ル。而シテ硬度正常ヨリ軟ナリ。

手術後第二十四日所見(三月十二日)

體重兩者共一四〇瓦、對照鼠一六〇瓦。陰莖兩者共(一)、對照鼠(±)。

手術後第二十五日所見(三月十三日)

攝食量兩者共一〇食匙、對照鼠一・五食匙。陰莖第二十五號(+), 第二十六號(-), 對照鼠(+)

性慾試驗

午後九時五分ヨリ同四十分ニ至ル。春寒シ。

第二十五號

順次成熟雌鼠第三十二號(起水(-))及ビ幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ、實驗時間十分間中、僅ニ成熟雌鼠ヲ嗅ゲルノミニテ交尾スルコト一回モナク、其ノ性慾度ノ甚ダシク劣弱ナルヲ見ル。而シテ之ヲ手術後第二十日竝ニ第二十一日ノ所見ニ比シ、其ノ間其ノ高度ニ於テ大ナル逕庭アルヲ見ルモノナリ、

之果シテ何ニ基因スベキヤ、即チ屢述セルガ如ク、日ヲ異ニスルニヨリ、或ハ實驗ノ間隔ヲ異ニスルニヨリテ、其ノ性慾度ノ表現ヲ異ニスベキハ勿論ナルモ、此ハ恐ラクハ本日迄ニ行ヘル生體染色(五回)並ニ其ノ鄧度行ヘル輕キ「エーテル」半麻醉ノ、性慾ニ障碍ヲ及ボセル結果ナルベシ。

次ニ對照鼠ヲ配シテ争闘ノ有無ヲ見ルニ陰性ナリキ。

第二十六號

前者ニ配セルト同様ナル雌鼠ヲ順次配スルニ、依然トシテ其ノ性慾甚ダ低ク、殆ド其ノ能動的行為ニ出アザルヲ見タリ。

手術後第二十六日所見 (三月十四日)

兩者共元氣良シ。攝食量第二十五號三・〇食匙、第二十六號一・五食匙、對照鼠一・五食匙。陰莖兩者共(一)、對照鼠(卅)。

手術後第二十七日所見 (三月十五日)

攝食量第二十五號一・七食匙、第二十六號一・六食匙、對照鼠一・五食匙。體重第二十五號一五四瓦、第二十六號一五八瓦、對照鼠一六二瓦。陰莖兩者共(一)、對照鼠(卅)。

手術後第三十日所見 (三月十八日)

午後一時二十分兩者共屠殺シテ辜丸ノ組織學的檢査ヲ行フ。年齡共ニ生後十一箇月五日ナリ。體重第二十五號一五六瓦、第二十六號一五〇瓦、對照鼠一六〇瓦。

解屍所見

第二十五號 (左側辜丸、副辜丸間結紮)

右側辜丸ハ小ナル雀卵大ニシテ、其ノ外觀手術前ノ夫レト殆ド同様ナレ共、左側辜丸、即チ手術側ハ其ノ大サ著シク萎縮シテ大約手術前ノ二分ノ一トナリ、硬度軟ニシテ疑似波動ヲ呈セリ、而シテ白膜下全面ニ手術前ノ如キ明カナル細精管ノ走行像ヲ認メズ、僅ニ數箇處ニ於テ、其ノ遺殘シテ、絮狀ノ組織片ト共ニ液體中ニ浮游セルガ如キ像ヲ認ム。左ニ之ガ重量並ニ容積ヲ記載セン。

	重量(瓦)	容積(蠶)
辜丸	右 〇・六〇〇〇	〇・六一〇〇
	左 〇・三一〇〇	〇・二九〇〇

左側辜丸ノ萎縮シテ手術前ノ約三分ノ一トナレリ。左側辜丸附屬脂肪體ハ大約手術前ノ三分ノ一ニ萎縮セリ。精囊ハ兩側共著シク萎縮退化シテ、長徑約一・四釐、幅徑(最廣)約五分ノ三釐トナリ、充實セズ、手術前ノ大約三分ノ二トナレリ。

	重量(瓦)	容積(蠶)
精囊	左 〇・一一四六	〇・一五七〇
	右 〇・一〇八四	〇・一五〇八

攝護腺亦著シク萎縮退化シ、全容積約豌豆大ニシテ、充實セズ、手術前ノ三分ノ一ヨリ小トナレリ。重量〇・一五二四瓦、容積〇・一九三七蠶、之性慾恢復速度ノ遲キニ徴シ興味アルコトナリトス。皮下脂肪組織及ヒ筋肉ハ良ク發育シテ手術前ノ夫レト大差ナシ。腸管其ノ他ニ寄生蟲ノ宿レルヲ發見セズ。

第二十六號 (兩側辜丸、副辜丸間結紮)

兩側辜丸ハ萎縮弛緩シ、大サ約小ナル大豆大ニシテ、白膜下全面ニ固有ノ色ヲ呈セル細精管ノ走行像ヲ認メズ、僅ニ數箇所ニ於テ其ノ殘留セルガ如キ像ヲ見、且絮狀ノ組織片ト液體中ニ浮游セルガ如キ像

ヲ認ム、硬度軟ニシテ疑似波動ヲ呈セリ。左ニ之が重量並ニ容積ヲ記載セン。

		重量(瓦)	容積(廻)
辜丸	右	〇・二九二〇	〇・三二二〇
	左	〇・三二一〇	〇・三六〇〇

兩側辜丸ハ萎縮シテ手術前ノ約四分ノ三トナレリ。兩側辜丸附屬脂肪體ハ大約手術前ノ二分ノ一ニ萎縮セリ。精囊ハ兩側共著シク退化シ、長徑約一・二釐、幅徑(最廣)約五分ノ二釐ニシテ充實セズ、手術前ノ約三分ノ二大トナレリ。

		重量(瓦)	容積(廻)
精囊	左	〇・一〇四〇	〇・一四〇二
	右	〇・〇九八三	〇・一〇三七

攝護腺ハ大サ約豌豆大ノ三分ノ二ニシテ、手術前ノ約五分ノ三ニ萎縮シ、充實セズ。重量〇・一一二〇八瓦、容積〇・一六二四廻。皮下脂肪組織及ビ筋肉ハ其ク發育シテ手術前ノ夫レト大差ナシ。腸管其ノ他ニ寄生蟲ノ宿レルヲ發見セザリキ。

本例ノ所見概括

性慾ノ變化

其ノ一 青年白鼠第二十五號 (左側辜丸、副辜丸間結紮)

性慾ハ手術後一時著シク低下シ、後手術ニヨル疲勞ノ恢復スル頃、即チ手術後一週間ヨリ次第ニ恢復シテ、術後第二十日後ニ第二十一日ニ於テハ殆ド手術前ノ夫レト異ラザルヲ見タリ。然レドモ之ヲ同シク一側ニ手術ヲ行ヘル第四例ノニ比スレバ、其ノ恢復速度ニ於テ著シク遅キモノアリ、之恐ラクハ主トシテ手術側辜丸内ニ於ケル其ノ組織學的變化ノ進行度如何ニ關スルモノナルベシ(後章辜丸ノ組織學的變化ノ條下参照)。左ニ手術後逐日觀察セル陰莖勃起ノ度ヲ表示スベシ。

第一表 手術後ニ於ケル陰莖勃起ノ有無ニ關スル觀察

試驗獸名及ビ年齡(手術當日)	手術側	陰莖勃起ノ程度及ビ手術後經過セル日數													
		5日	6日	7日	8日	9日	12日	14日	15日	20日	*21日	24日	25日	26日	27日
青年白鼠第二十五號(生後十 _五 日)	1	±	±	±	+	±	+	-	-	+	±	-	+	-	-
同 第二十六號(同上)	b	+	+	+	+	±	卅	-	-	±	-	-	-	-	-
對 照 鼠 (同上)	/	卅	+	+	±	+	+	±	卅	+	卅	±	+	卅	卅

備 考

* 術後第21日夜ヨリ試驗獸ノミ生體染色ヲ行フ。

第二十六號ハ性慾試驗ニ於テ著シク低劣ナル性慾度ヲ現セルニモ拘ラズ、已ニ術後第五日以後ニ於テ陰莖ノ弱度ニ勃起セルヲ認メタリ、而シテ還ハ多ク兩側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮セルモノニ於テ認メタル所ナリトス。之興味アルコトナリ(第四例其ノ一及ビ第七例参照)。

術後第二十一日夜ヨリ生體染色ヲ開始セルガ、其ノ回數ヲ重ヌルニ從ヒテ幾分其ノ性慾度ヲ減少セルガ如キモノアリキ。然レドモ此ハ生體染色ヲ行ヘル都度施セル輕キ「エーテル」半麻醉ノ及ボセル障礙ナシトセザルナリ。

其ノ二 青年白鼠第二十六號 (兩側辜丸, 副辜丸間結紮)

性慾ハ手術後著シク低下シ, 同時ニ手術ヲ行ヘル青年白鼠第二十五號ノ, 術後第七日頃ヨリ次第ニ恢復シテ, 同第二十一日ニ於テハ已ニ殆ド舊狀ニ復セルニ拘ラズ, 本試験獸ニ於テ, 其ノ事無ク, 術後二十日ニシテ僅ニ幼若雌鼠第四十二號ニ對シ, 能動的行爲ニ出テテ數秒間其ノ身體ノ諸部分ヲ嗅ケルノミニシテ, 術後第二十一日迄ニ行ヘル四回ノ性慾試験ニ際シ, 一度モ交尾セシコトアルナシ. 即チ之ヲ同様ニ兩側ニ手術ヲ行ヘル第七例及ビ第四例其ノ一ノ所見ニ比スレバ, 術後一旦低下セル性慾ノ恢復速度ニ於テ著シク遅キモノアルガ如シ, 之恐ラクハ主トシテ其ノ辜丸内ニ於ケル退行性變化ノ進行度ノ如何ニ係ルモノナルベシ (後章辜丸ノ組織學的變化ノ條下參照), 然レドモ茲ニ注意スベキハ, 斯クノ如キ遅々タル性慾ノ恢復速度ニモ拘ラズ, 陰莖ハ已ニ術後第五日, 第六日, 第七日及ビ第八日ニ於テ弱度ニ勃起セルコトニシテ, 之或ハ偶然ナランカレドモ, 等シク兩側ニ手術ヲ行ヘル第七例及ビ第四例ノ其ノ一及ビ其ノ他ノ數例ニ於テモ認メタル所ナリトス. 之果シテ何ニ基因スベキヤ, 余ハ前述セル老雄鼠ノ實驗ニ於テ, 其ノ一例ニ於テ陰莖ノ已ニ術後二十四時間ニシテ勃起セルヲ認メ, 其ノ多クノ例ニ於テ, 已ニ手術後第四, 五日ニシテ陰莖ノ著シク勃起シ, 且之ト同時ニ驚クベキ性慾ノ昇騰セルヲ實驗セシガ, 之果シテ辜丸内分泌機能再生ノ結果, 性慾ノ昇騰セルガ故ノミニ歸スベキカ, 然ラズ, 此ハ余ノ見解ヲ以テスレバ, 恐ラクハ兩側辜丸, 副辜丸間結紮ノ結果, 生來セル辜丸造精組織ノ退行變性ニ基ク充血ノ同様ニ陰莖ニモ波及セルニハ非ザルナキヤ, 然リ而シテ余等ガ日常鼠蹊「ヘルニヤ」等生殖器附近ノ手術ニ際シ, 往々ニシテ術後故ナクシテ陰莖ノ勃起スルヲ認ムルガ如キ, 亦之ト何等カノ共通點之無キヲ保セズ, 暫ク保留シテ今後ノ解決ニ俟タント欲ス.

術後第二十一日ヨリ生體染色ヲ開始セルガ, 其ノ後同様ニ性慾度ハ著シク低ク, 一同モ交尾セルコトアルナシ. 即チ之ハ其ノ都度施セル輕キ「エーテル」半麻醉ノ影響セル爲ナルベシ.

食慾ノ變化

第二表ニ示セルガ如ク, 食慾ハ兩者共術後著シク低下セルガ, 日チ經ルニ從ヒテ次第ニ恢復シ, 已ニ手術後第七, 八日ニ於テ舊ニ復セルガ如シ. 之性慾恢復ノ經過ト少シク趣ヲ異ニセル所ニシテ, 詳言スレバ食慾ノ已ニ術後七, 八日ニシテ舊位ニ復セルニモ拘ラズ, 性慾ノ尙ホ恢復セズ, 術後第二十日乃至第二十一日ニシテ漸ク舊位ニ達スルヲ見タリ, 換言スレバ性慾恢復ノ速度ハ食慾恢復ノ夫レヨリ著シク遅キモノアルヲ見ル, 殊ニ其ノ度ハ兩側ニ於テ, 手術ヲ行ヘルモノニ於テヨリ遅キヲ見ル. 生體染色ノ食慾ニ及ボス影響ハ殆ド之無キガ如シ.

第二表 手術後ニ於ケル食慾亢進ノ有無ニ關スル觀察

試 驗 獸 名	手 術 側	攝 食 量 (食 匙) 及 ビ 手 術 後 經 過 セ ル 日 數									
		5日	6日	7日	8日	12日	15日	* 23日	25日	26日	27日
青年白鼠第二十五號	1	1.0	1.5	2.0	1.5	2.2	1.7	1.0	1.0	3.0	1.7
同 第二十六號	b	1.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.6
對 照 鼠	/	2.0	1.9	2.2	1.7	2.0	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5
備 考	手術前ニ於ケル平均攝食量ハ三者間多少ノ差異アレドモ約1.8食匙ナリキ. * 術後第二十一日夜ヨリ試験獸ノミ生體染色ヲ行フ.										

體重ノ變化

第三表ニ示スガ如ク、體重ハ術後一時稍々減少セルモ、間モナク舊ニ復シ、其ノ後正常ナル経過ヲ取リテ増加ス、即チ術後第二十六號ハ已ニ六日ニシテ殆ド舊ニ復シ、第二十五號ハ十二日ニシテ略々之ニ近ク、二十日ニシテ稍々之ヲ超エタリ。即チ本例ニ於テハ兩側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮セルモノ、即チ第二十六號ハ一例ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮セルモノ、即チ第二十五號ヨリ其ノ體重減少恢復速度ノヨリ速ナルヲ見ル、而シテ之ヲ性慾恢復ノ速度ト比較スルニ、第二十五號ニ於テハ左迄大ナル差異アルヲ見ザレドモ、第二十六號ニ於テハ著シク迅速ナルヲ見ルモノナリ。生體染色及ビ其ノ都度行ヘル輕キ「エーテル」中麻醉ノ體重ニ大ナル影響ヲ及ボサザリキ。

第三表 手術後ニ於ケル體重増減ノ有無ニ關スル觀察

試験獸名	手術側	手術當時ノ體重(瓦)	體重(瓦)及ビ手術後経過セル日數							
			4日	6日	12日	20日	*21日	24日	27日	30日
青年白鼠第二十五號	1	150	130	130	138	162	162	140	154	156
同 第二十六號	b	140	130	138	142	142	142	140	158	150
對 照 鼠	/	151	148	150	148	158	164	160	162	160

備 考 * 術後第二十一日夜ヨリ試験獸ノミ生體染色ヲ行フ。

毛髮ノ變化

手術後ニ於ケル毛髮發生ノ狀態ヲ見ルニ、何等ノ變化ナク、異常ナル新生竝ニ脱落等アルナシ。

其ノ他ノ一般生活現象ノ變化

手術後四、五日間ハ手術ニヨル全身疲勞ニヨリテ元氣稍々沈衰セルモ、日ヲ經ルニ從ヒテ恢復シ、術後第八日ニシテ殆ド舊狀ニ歸ルヲ見タリ、之亦性慾恢復ノ経過ト少シク趣ヲ異ニスル所ニシテ、殊ニ左側辜丸、副辜丸間ヲ結紮セルモノ、即チ第二十六號ニ於テ然ルヲ見ル。

辜丸、副辜丸及ビ二次的性徵ノ肉眼的變化

試験獸ノ兩者ヲ通ジテ見ルニ、辜丸、副辜丸間ヲ結紮セル側ノ辜丸、副辜丸及ビ辜丸附屬脂肪體ハ、術後第三十日マテノ觀察ニ於テハ、夫々度ヲ異ニシテ萎縮シ、非手術側ノ三者ハ殆ド術前ト異ラザルヲ見タリ。

要之、本例ニ於テハ其ノ一側ニ手術ヲ行ヘルモノ(第二十五號)、其ノ兩側ニ手術ヲ行ヘルモノ(第二十六號)、相共ニ術後性慾恢復ノ速度遅ク、術後第七日ニシテ漸ク恢復ニ向ヒ、同第二十一日ニシテ前者ノ漸ク舊ニ復シ、後者ノ尙ホ恢復セザルヲ見タリ、之即チ前述セル第四例及ビ第七例竝ニ其ノ他ノ數例ト稍々趣ヲ異ニスル所ナリトス。而シテ同様食慾竝ニ其ノ他一般生活現象ニ於テモ術後其ノ恢復速度一、二日遅キヲ見タリ。

次ニ余ハローマイス氏ノ爲セルガ如ク、一側ノ辜丸ヲ摘出スルト共ニ、他側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮シテ、其ノ後ニ於ケル生物學的變化ヲ觀察セリ、左ニ之ガ代表例ヲ述ブベシ(實驗例數十四)。

第十六例 青年白鼠第五十三號 年齡生後七箇月十六日

實驗前ニ於ケル生物學的所見

實驗前二箇月ニ互ル生物學的觀察ニヨレバ、本鼠ハ高度ノ性慾ヲ保持シ、成熟雌鼠ニ對シテ隨時交尾ヲ行ヒ、陰莖ハ常ニ半バ勃起シ、化粧慾盛ナリ、運動甚ダ活潑ニシテ多動、元氣旺盛ニシテ外界ニ對スル反應鋭敏ナリ。一日平均一・五食匙ヲ攝取ス、毛髮ハ雪白ニシテ軟ク、且光澤アリ。筋肉竝ニ皮下脂肪組織良ク發達シ、一見シテ成熟セルヲ惟ハシム。糞便中ニ寄生蟲卵ヲ證明セズ、且皮膚病ニ罹レルヲ認メズ。

大正十一年二月二十一日午後十二時四十五分左側辜丸ヲ摘出シ、次テ右側辜丸、副辜丸間ヲ結紮ス。體量一三五瓦。

開腹所見

兩側辜丸ハ小ナル雀卵大ニシテ、硬度彈力性軟、其ク血液ニヨリテ灌流セラル、白膜下全面ニ固有ノ淡紅色ヲ呈セル細精管ノ走行像ヲ透見ス。左側辜丸重量〇・五五〇〇瓦、容積〇・六一〇〇哩。副辜丸竝ニ辜丸附屬脂肪體之ニ準シテ良ク發育セリ。兩側精囊ハ長徑約二哩、幅徑(最廣)約〇・五哩ニシテ、血液ニヨリテ其ク灌流セラル、充實セリ。攝護腺ハ大サ小ナル豌豆大ニシテ表面顆粒狀ヲ呈シ、血液ニヨリテ其ク灌流セラル、充實度大ナリ。皮下脂肪組織及ヒ筋肉其ク發達ス。

手術後第一日所見 (二月二十二日)

元氣稍々惡シ、攝食量〇・五食匙、陰莖(+)。

手術後第二日所見 (二月二十三日)

元氣次第ニ良シ、攝食量一・〇食匙、陰莖(+)。

手術後第三日所見 (二月二十四日)

元氣良シ、攝食量一・五食匙、陰莖(-)。

手術後第四日所見 (二月二十五日)

右側辜丸ハ陰囊内ニ戻リテ歩行ニ際シ振搖ス。元氣手術前ニ復セリ。陰莖(+)。

手術後第七日所見 (二月二十八日)

元氣良シ、攝食量一・五食匙、體重一五二瓦、手術創ハ第一次癒合ヲ嘗ム。陰莖(-)、午後七時二十分成熟雌鼠第二十五號ヲ配シテ性慾試驗ヲ行フニ、中等度ノ烈シサヲ以テ之ガ身體ノ諸部分ヲ嗅ケルモ交尾スルコトナク、手術後其ノ性慾ノ著シク低下セルヲ見ル。

手術後第九日所見 (三月一日)

活潑多動ナリ、陰莖(+)。

性慾試驗

午後四時ヨリ同四時十五分ニ至ル。快晴。

成熟雌鼠第二十號(起水(-))ヲ配スルニ、巢ニ藁ヲ被リテ横タハリ居タルガ、約一分間後、中等度ノ烈シサヲ以テ之ニ近ヅキ、其ノ身體ノ諸部分ヲ嗅ク、雌鼠ハ軀幹ヲ轉廻シテ之ヲ忌避ス、後互ニ立上リテ争フ、約一分ノ後巢ニ歸リテ藁ヲ被ムレリ (試験時間三分)。

幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ、直ニ之ニ近ヅキテ約三十秒間身體ノ諸部分ヲ嗅ク、後雌鼠ノ其ノ背

上ニ乗リテ踞スルモ能動的行爲ニ出テズ (試験時間三分).

成熟雌鼠第四十號(起水(-))ヲ配スルニ、暫クノ後、巢ヨリ出テ來リテ中等度ノ烈シサヲ以テ之ヲ追跡シ、外陰部ヲ嗅ク、雌鼠ハ體ヲ交ハシテ之ヲ忌避ス、後互ニ立上リテ相爭フ(此ノ間約三十秒)、次ア約三十秒間静止シ、又前動作ヲ反覆セリ、約一分間後、別レテ巢ニテ化粧ス(此ノ間約一分間)、後再ビ追跡シテ之ガ身體ノ諸部分ヲ嗅ク、サレド交尾スルコトナシ、斯カル所ヘ成熟雌鼠第三十二號ヲ配スルニ、巢ニ在リテ無關心ナリ (試験時間五分).

以上ノ所見ニヨリテ觀ルニ、本日ハ性慾試験ヲ晝間ニ行ヘルガ故ニ、其ノ性慾度ノ全豹ヲ窺フコト能ハザリシトハ言ヘ尙ホ未ダ其ノ手術前ニ恢復セザルヲ見ル.

手術後第十日所見 (三月三日)

活潑多動ナリ、一・五食匙ヲ攝食ス、陰莖(卅).

手術後第十一日所見 (三月四日)

活潑多動ナリ、攝食量一・七食匙、陰莖(-).

手術後第十五日所見 (三月八日)

元氣良シ、體重一五二瓦、陰莖(-).

性慾試験

午後十一時二十三分ヨリ同十一時四十五分ニ至ル。研ヘ返ル.

成熟雌鼠第十七號(起水(-))ヲ配スルニ、直ニ之ニ近ヅキテ約三十秒間身體ノ諸部分ヲ嗅ク、後別レテ化粧ス、雌鼠モ亦巢中ニ入リテ化粧ス、後雌鼠ハ籠ノ諸所ヲ徘徊シ、次ア再ビ化粧ス、約三分間後、再ビ雌鼠ニ近ヅキテ數秒間身體ノ諸部分ヲ嗅キ、次ア化粧セリ (試験時間五分).

幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ(同十一時二十九分)、直ニ之ニ近ヅキテ身體ノ諸部分ヲ嗅ク、約一分間後、暫ク之ヲ止メテ化粧シ、次ア籠中ヲ徘徊ス、此ノ間雌鼠ハ巢ニ踞シテ化粧セリ。約二分間後、雌鼠ノ巢ヨリ出テ來ル時ハ、中等度ノ烈シサヲ以テ之ヲ追跡シ、約三十秒間其ノ身體ノ諸部分ヲ嗅ク、間モナク止メテ化粧シ、約一分間後之ヲ反覆セリ (試験時間五分).

成熟雌鼠第三十二號(起水(-))ヲ配スルニ(同十一時三十六分)、雌鼠ノ近ヅクモ能動的行爲ニ出テズ、相竝ビテ化粧ス、此ノ所ヘ青年雄鼠第三十二號ヲ配スルニ、數秒間其ノ方向ヲ嗅ゲルノミニシテ爭鬪スルコトナシ (試験時間六分).

以上ノ所見ニヨリテ觀ルニ、本日モ尙ホ性慾度甚ダ低ク、唯單ニ成熟雌鼠竝ニ幼若雌鼠ニ對シテ中等度ノ烈シサヲ以テ近ヅキ、外陰部竝ニ其ノ他ノ身體諸部分ヲ嗅ゲルノミニテ交尾スルコト一回モナシ.

之即チ試験獸ハ一側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮スルト共ニ、他側ノ辜丸ヲ摘出セルガ故ニ、一方ニ於テハ辜丸、副辜丸間結紮ニ因スル辜丸内ノ組織學的變化ニヨリ、他方ニ於テハ辜丸摘出ニ因スル性「ホルモン」分泌器官ノ消失ニヨリテ、斯クノ如キ性慾度ノ著シキ低下ヲ來セルモノナルベシ(後章、組織篇參照).

手術後第十六日所見 (三月九日)

活潑多動ナリ、手術ニ際シテ剃除セル腹壁ノ毛髮ハ已ニ成長シテ約五分ノ四種トナリ、其ノ性状全ク他部ノ夫レト同様ナリ。陰莖(-).

手術後第十八日所見（三月十一日）

元氣良シ，攝食量一・〇食匙，陰莖（卅）。

性慾試験

午後八時四十二分ヨリ同九時五分ニ至ル。浴へ返ル。

成熟雌鼠第十七號（起水（一））ヲ配スルニ，直ニ之ニ近ヅキテ烈シク外陰部及ビ頭部ヲ嗅ク，雌鼠ハ叫ビテ之ヲ忌避ス，サレド屈セズ，能動的行為ニ出ヅテ其ノ背上ニ跨ル，此ノ間約一分三十秒ナリ，後龜頭ヲ舐メ，再ビ能動的行為ニ出ヅ，約一分ノ後龜頭ヲ舐メ，次テ再ビ其ノ身體ノ諸部分ヲ嗅ク，後別レテ化粧シ或ハ静止ス（試験時間五分）。

幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ（同八時四十九分），直ニ之ニ近ヅキテ頭部及ビ顔面ヲ嗅ク，約二十秒ノ後別レテ化粧ス。後雌鼠ノ離レテ籠ノ他ノ方面ニ赴クヲ追跡シテ，其ノ兩前肢ヲ雌鼠ノ背部竝ニ頭部ニ乗セ，頭部ノ毛髮ヲ嗅ギ或ハ舐ム（試験時間五分）。

成熟雌鼠第三十二號（起水（一））ヲ配スルニ（同八時五十六分），直ニ之ニ近ヅキテ外陰部ヲ嗅ク，約四十秒ノ後止メテ化粧ス（此ノ間約四十秒），次テ再ビ烈シク外陰部ヲ嗅ク，雌鼠ハ巢ニ踞マル，後龜頭ヲ舐メ，次テ化粧ス（此ノ間約四十秒），再ビ數秒間雌鼠ヲ嗅ギ，後化粧ス（試験時間五分）。

青年雄鼠第三十二號ヲ配スルニ（同九時二分），直ニ近ヅキテ兩前肢ヲ背部ニ乗セ，其ノ頭部ノ毛髮ヲ舐ム，然ル時ハ配セル雄鼠ハ能動的行為ニ出テテ之ニ戯レカカル，試験獸ハ之ニ應ジテ同シク戯レ，或ハ倒レ，或ハ互ニ立上リテ喜戯スルコト久シ，争闘ナシ（試験時間三分）。

以上ノ所見ニヨリテ觀ルニ，本日モ尙ホ其ノ性慾度甚ダ低ク，手術ニヨリテ低下セル夫レノ容易ニ恢復セザルヲ見ル。然レドモ之ヲ手術後第十五日ノ所見ニ比スレバ，幾分其ノ度ヲ高メタルガ如シ。

手術後第二十日所見（三月十三日）

元氣良シ，體重ハ一八〇瓦ニシテ，之ヲ手術當時ノ一三五瓦ニ比スレバ四十五瓦増量セリ。陰囊上ヨリ左側睾丸ヲ觸診スルニ，大サ小ナル雀卵大ニシテ，硬度彈性軟ヨリ稍々軟ナリ，龜頭ハ深紅色ニシテ，靜脈ノ走行セルヲ明カニ認メ，弄ブ時ハ陰莖勃起セリ。

手術後第二十一日所見（三月十四日）

攝食量一・五食匙，陰莖（±）。

手術後第二十五日所見（三月十八日）

元氣良シ，體重一七〇瓦，陰莖（一）。

手術後第二十七日所見（三月二十日）

活潑多動ナリ。陰莖（一）。

性慾試験

午後九時二十二分ヨリ同九時四十五分ニ至ル。浴へ返ル。

幼若雌鼠第四十四號ヲ配スルニ，直ニ之ニ近ヅキテ中等度ノ烈シサヲ以テ外陰部ヲ嗅ク，雌鼠ハ鳴キテ之ヲ忌避ス，約十秒ノ後別レテ化粧ス，一分間後再ビ能動的行為ニ出テテ前動作ヲ反覆ス，更ニ一分間後，能動的行為ニ出テテ三度前動作ヲ反覆セリ，此ノ所へ青年雄鼠第三十二號ヲ配スルニ，該鼠ハ直ニ試験獸ニ戯レカカリ，互ニ其ノ身體ノ諸部分ヲ嗅ギ合フ，争闘スルコトナシ（試験時間五分）。

成熟雌鼠第十七號(起水(-))ヲ配スルニ(同九時三十一分), 直ニ之ニ近ヅキテ約五秒間外陰部ヲ嗅ク, 後十五秒間化粧シ, 次テ甚ダ烈シク外陰部ヲ嗅ク, 雌鼠ハ叫ビ乍ラ後肢ヲ擧ゲテ之ヲ避ケ, 或ハ倒レテ之ヲ避ケ, 後約二秒間乃至五秒間ノ間隔ヲ置キテ約三秒間宛外陰部ヲ嗅ク, 其ノ間ニ三回交尾動作アリ, 内二回ハ目的ヲ達セズ, 此ノ所へ青年雄鼠第三十二號ヲ配スルニ, 直ニ之ニ近ヅキテ外陰部ヲ嗅ギ, 自己モ亦外陰部ヲ嗅ケレタルノミニテ争闘スルコトナシ (試験時間五分).

成熟雌鼠第三十二號(起水(-))ヲ配スルニ(同九時三十九分), 直ニ之ニ近ヅキテ數秒間其ノ背部ヲ嗅ギ, 次テ盛ニ化粧シ, 後籠中ヲ徘徊シテ餌ヲ拾ヒ, 巢ニ至リテ相竝ビテ之ヲ喰フ. 約五秒間後十秒位烈シク外陰部ヲ嗅ギ, 直ニ一回交尾アリ, 後龜頭ヲ舐メ, 次テ化粧シ, 而シテ籠中ヲ徘徊ス (試験時間五分).

以上ノ所見ニヨリテ觀ルニ, 本日ハ其ノ性態度可ナリ高ク, 實驗時間十五分間中, 幼若雌鼠竝ニ成熟雌鼠ニ對シテ烈シク能動的行爲ニ出テ, 成熟雌鼠第十七號ニ對シ, 三回ノ交尾動作中一回ノ遂情アリ, 續イテ配セル成熟雌鼠第三十二號ニ對シ, 一回ノ交尾アリテ手術後初メテ其ノ交尾セルヲ見ル. 然レドモ之ヲ手術前ノ性態度ニ比スレバ尙ホ著シク低キモノアリ, 之一側ノ辜丸, 副辜丸間ヲ結紮シ, 一側ノ辜丸ヲ摘出セル手術方法ニ參照シテ甚ダ興味アルコトナリトス.

手術後第二十八日所見 (三月二十一日)

活潑多動ナリ, 一・四食匙ヲ攝取ス, 陰莖(-).

手術後第三十一日所見 (三月二十四日)

元氣衰シ, 體重一八二瓦, 攝食量一・五食匙, 手術ニ際シテ剝除セル腹壁ノ毛髮ハ已ニ成長シテ他部ノ夫レト同長ナリ, 陰莖(±).

性慾試驗

午後九時十分ヨリ同九時三十分ニ至ル. 雪降ル.

幼若雌鼠第四十二號ヲ配スルニ, 烈シク之ニ近ヅキテ外陰部ヲ嗅ク, 雌鼠ハ弱ク鳴キテ之ヲ避ケ, 巢中ニ潛入ス, 依リテ試験獸ハ夫レ以上能動的行爲ニ出ヅルコト能ハズ, 斯クシテ五分間經過ス.

成熟雌鼠第三十二號(起水(-))ヲ配スルニ(同九時十七分), 直ニ之ニ近ヅキテ甚ダ烈シク外陰部ヲ嗅ク(約十秒間), 雌鼠ハ鳴カズシテ巢ニ至リテ踞ス, 此ノ時巢中ニ潛入セル幼若雌鼠第四十二號ヲ籠外ニ取り出ス, 暫時ノ後, 再ビ烈シク雌鼠ニ近ヅキテ之ガ身體ノ諸部分ヲ嗅ク, サレド雌鼠ノ巢中ニ奥深く踞セルニヨリテ試験獸ノ動作ニ對シテ不都合ナリ, 依リテ雌鼠ヲ巢外ニ出スニ, 直ニ一回交尾アリ, 後龜頭ヲ舐メ(約三秒間), 再ビ一回交尾アリ, 次テ又龜頭ヲ舐メ, 而シテ化粧ス. 雌鼠ハ巢ニ歸リテ踞ス (試験時間五分).

成熟雌鼠第十七號(起水(-))ヲ配スルニ(同九時二十三分), 直ニ之ニ近ヅキテ烈シク外陰部ヲ嗅ク, 雌鼠ハ後肢ニテ之ヲ避ケ, 或ハ倒レテ之ヲ忌避ス, サレド屈セズ, 疾風ノ如ク之ニ近ヅキテ甚ダ烈シク外陰部ヲ嗅ギ, 二分間ニ九回交尾動作アリ, 内最初ノ二回丈ケ目的ヲ達ス, 後別レテ龜頭ヲ舐メ, 次テ化粧シ(此ノ間約一分), 再ビ一回交尾アリ, 但シテ目的ヲ達セズ, 雌鼠ハ立上リテ之ヲ忌避ス, サレド屈セズ, 連續シテ烈シク外陰部ヲ嗅ギ, 直ニ一回交尾アリ, 後龜頭ヲ舐メ(此ノ間約三十秒), 次テ再ビ烈シク能動的行爲ニ出テテ之ヲ嗅ガントスルモ, 雌鼠ハ立上リテ之ヲ近ヅケシメズ, 約四十秒ノ後, 別レ

テ龜頭ヲ舐ム、此ノ所へ青年雄鼠第三十二號ヲ配スルニ、直ニ該鼠ノ試験獸ニ戯レカカレルノミニテ争闘スルコトナシ（試験時間五分）。

以上ノ所見ニヨリテ觀レニ、本日ハ其ノ性慾度可ナリ高ク、試験時間十五分間中、最初ニ配セル幼若雌鼠第四十四號ニ對シテ烈シク能動的行爲ニ出テ、續イテ配セラレ成熟雌鼠第三十二號ニ對シ、同シク烈シク能動的行爲ニ出テテ二回交尾アリ、更ニ續イテ配セル成熟雌鼠第十七號ニ對シ、甚ダ烈シク能動的行爲ニ出テテ、交尾動作十一回中三回ノ遂情アリテ、殆ド手術前ニ異ナラザル性慾度ヲ現セルヲ見ル、即チ之ヲ手術後第二十七日ノ所見ニ參照シ、其ノ後次第ニ一旦手術ニヨリテ低下セル性慾ノ恢復セルヲ知ル、サレド尙ホ遅キ例ニ於テハ、術後第三十五日ニシテ漸ク舊ニ復スルヲ見タリ（第十九例）。而シテ茲ニ注意スベキハ、唯單ニ一側ノ辜丸、而モ并ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮シテ造精組織ヲ著シク退化セシメタル辜丸（後章辜丸ノ組織學的検査ノ條ニ參照）ノミニテモ、尙ホ且斯クノ如ク性慾ノ恢復ヲ見ルコトナリトス。之甚ダ興味アルコトナリ。

手術後第三十五日所見（三月二十八日）

午後零時五十分、屠殺シテ辜丸ノ組織學的検査ヲ行フ。年齢生後九箇月一日。

解屍所見

右側辜丸ハ著シク萎縮シテ大約手術前ノ二分ノ一トナリ、白膜下全面ニ固有ノ細精管ノ走行セル像ヲ認メズ、諸處褐色ノ組織片ト混在シテ液體中ニ浮游セルガ如キ像ヲ認ム。硬度軟ニシテ疑似波動ヲ呈セリ。重量〇・三〇〇二瓦、容積〇・三四〇一喱。同側副辜丸並ニ辜丸附屬脂肪體何レモ度ヲ異ニシテ萎縮シ、前者ハ大約四分ノ一、後者ハ大約二分ノ一縮小セリ。兩側精囊ハ長徑約一・五喱、幅徑（最廣）約〇・四喱ニシテ、充實度減少シ、大約手術前ノ三分ノ二トナレリ。

	重量(瓦)	容積(喱)
精囊	左 〇・一六六六	〇・一八八四
	右 〇・一八六四	〇・一九二三

攝護腺ハ大サ約豌豆大ノ四分ノ三ニシテ、充實セズ、術前ノ約四分ノ三ニ縮小セリ、重量〇・一二九八瓦、容積〇・一四六二喱。皮下脂肪組織及ヒ筋肉長ク發達セリ。腸管其ノ他ニ寄生蟲ノ宿レルヲ發見セザリキ。

本例ノ所見概括

性慾ノ變化

性慾ハ手術後著シク低下シ、手術ニヨル全身疲勞ノ術後第四日ニシテ已ニ恢復セルニモ拘ラズ、尙ホ甚ダシク劣弱ニシテ、術後第二十七日ニシテ初メテ交尾スルヲ見タリ、然レドモ尙ホ其ノ高度ノ手術前ノ夫レニ達セズ、術後第三十一日ニシテ漸ク略々ト同様ナルヲ見タリ（尙ホ遅キ例ニテハ術後第三十五日ニシテ舊位ニ復セルヲ見ル）。約言スレバ本例ニ於テハ一旦手術ニヨリテ低下セル性慾ノ恢復度極メテ遅ク、手術前ノ高度ニ復スル迄ニ約一箇月ヲ要シタリ。之ヲ前述セル一側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮シ、或ハ兩側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮セル各二例ノ性慾恢復速度ニ比スレバ、著シク遅キモノアリ、之即チ本例ニ於テハ一側辜丸、副辜丸間ヲ結紮スルト共ニ、他側ノ辜丸ヲ摘出セルガ故ナルベシ。而モ吾人ハ之ニ據リテ尙ホ且一側ノ辜丸ノミニヨリテモ、夫ノ造精組織ヲ著シク退化セシメタル辜丸（後章組織篇參照）ニヨリテモ、術後一定時日ヲ經過セバ性慾度ノ舊位ニ歸ルヲ知ル。

左ニ術後逐日觀察セル陰莖勃起度ヲ表示スベシ。

第一表 手術後ニ於ケル陰莖勃起ノ有無ニ關スル觀察

試驗獸名及ビ 年齢(手術當日)	陰莖勃起ノ程度及ビ手術後經過セル日數																		
	1日	2日	3日	4日	7日	9日	10日	11日	15日	16日	17日	18日	19日	21日	25日	27日	28日	31日	32日
青年白鼠第五十三號 生後七箇月二十六日	+	+	-	+	-	+	卅	-	-	-	±	卅	±	±	-	-	-	±	±

食慾ノ變化

食慾ハ手術後著シク減退セルモ、間モナク舊ニ復シ、術後第四日ヨシテ已ニ舊狀ニ歸スルヲ見ル、其ノ後正常ノ經過ヲ取レリ。

第二表 手術後ニ於ケル食慾増減ノ有無ニ關スル觀察

試驗獸名	手術前ニ於ケル平均攝食量(食匙)	攝食量(食匙)及ビ手術後經過セル日數									
		1日	2日	3日	7日	10日	11日	18日	21日	28日	31日
青年白鼠第五十三號	15	0.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.7	1.0	1.5	1.4	1.5

體重ノ變化

體重ハ手術後一時減少シタランモ、已ニ術後第七日ニシテ一五二瓦ヲ算シ、手術當日ノ夫レヨリ一七瓦多シ、爾後比較的速ナル増量ノ經過ヲ取リテ術後第二十日ニハ已ニ一八二瓦トナレリ(脂肪增多アリ)之本試驗獸ハ年齢比較の若ク、從テ其ノ發育力ノ旺盛ナルニ基因センカ、サレド此ハ去勢動物竝ニ所謂「レントゲン」去勢動物ニ於テ認めラルルト同様ナル精細胞ノ破壊乃至絶滅ニ因スル全身脂肪增多ト其ノ趣チニセルニ非ザルナキカ。

第三表 手術後ニ於ケル體重増減ノ有無ニ關スル觀察

試驗獸名	手術當日ノ體重(瓦)	體重(瓦)及ビ手術後經過セル日數				
		7日	15日	20日	25日	31日
青年白鼠第五十三號	135	152	152	180	170	182

毛髮ノ變化

手術後毛髮ノ異常ナル新生竝ニ脱落等ナシ、手術ニ際シテ剃除セル腹壁ノ毛髮、術後已ニ第十六日ニシテ生長シテ約五分ノ四種トナリ、同第三十一日ノ觀察ニ於テハ他部ノ夫レト全ク同長トナレリ。

其ノ他ノ一般生活現象ノ變化

本試驗獸ハ手術後一、二日間ハ元氣稍々沈衰セルモ、其ノ恢復比較的早ク、術後第四日ニシテ已ニ手術前ノ夫レト同様トナレリ。

睪丸、副睪丸竝ニ二次的性徵ノ肉眼的變化

手術後第三十五日迄ノ觀察ニ據レバ、手術側ノ睪丸、副睪丸及ビ睪丸附屬脂肪體ハ夫々度ヲ異ニシテ

萎縮シ、精囊竝ニ攝護腺亦萎縮セリ。

要之、本例ハ從來ノ手術方法トハ異ナリ、一側ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮スルト共ニ、他側ノ辜丸ヲ摘出セルニヤ、其ノ性慾、手術後著シク減退シ、且長ク恢復セズシテ、手術後三十一日ニシテ漸ク舊ニ復スルヲ見タリ。反之、食慾竝ニ元氣ハ比較的早ク恢復シテ、術後已ニ四日ニシテ舊位ニ歸レルヲ見ル。且體重モ左程ニ減少セズ、寧ロ大ナル増加率ヲ以テ增量セリ。

第三目 實驗例ノ所見概括

(1) 性慾ノ變化

性慾ハ手術後著シク低下シ、術後第五、六日ニシテ漸ク恢復ニ向ヒ、一側ニ手術ヲ行ヘルモノハ大約同第十五日、兩側ニ手術ヲ行ヘルモノハ大約同二十日ニシテ舊ニ復ス、サレド此ハ試驗獸ヲ異ニスルニヨリテ異ナリ、其ノ恢復速度ノ兩者ニ於テ著シク遅キモノアルヲ見ル、即チ實驗例第十ニ於テ述ベタルガ如ク、前者ハ約同第二十日、後者ハ同第二十八日ニシテ舊ニ復セリ、而シテ術後其ノ漸ク恢復ニ向ヘル時日モ約一、二日遅キヲ見タリ。然リ而シテ術後其ノ性慾低下度ハ、一側ニ手術ヲ行ヘルモノヨリモ、兩側ニ手術ヲ行ヘルモノニ於テヨリ大ナルヲ見ル。次ニ一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ他側ノ辜丸ヲ摘出セルモノニ於テハ(第十六例參照)、其ノ性慾恢復度極メテ遅ク、術後第三十一日ニシテ漸ク術前ノ高度ニ達スルヲ見タリ。

而シテ爰ニ注意スベキハ、以上ハ單ニ術後多ク第三十五日迄ノ短期間ノ觀察ナルモ、術後第百十八日迄ノ觀察ニ於テハ、兩側ニ手術ヲ行ヘルモノニ於テ(第四例其ノ一參照)、術後第八十八日以後ニ於テ、其ノ性慾ノ異常ニ亢進セルモノアルヲ認メタルコトナリトス。次ニ附言セント欲スルハ、兩側ニ手術ヲ行ヘルモノニ於テ見ルガ如ク、已ニ試驗獸ハ其輸精路ヲ切斷セラレテ生殖ノ目的ヲ達スルニ由ナキニモ拘ラズ、術後一旦低下セル性慾ノ再ビ恢復スルト共ニ、依然トシテ術前ト同ジク交尾スルコトニシテ、之性慾即チ交尾慾ト生殖トハ全然別個ノモノナリテフ生理學者竝ニ心理學者ノ主張ヲ實證スルモノナルコトナリ。併セテ全身麻醉ハ性慾ニ影響ヲ及ボシ、多少共之ガ高度ヲ減退スルモノナルコトナリ。生體染色ノ性慾ニ及ボス影響ハ殆ド之ナキガ如シ。

(2) 食慾ノ變化

食慾ハ術後手術ニヨル疲勞ニヨリテ著シク減退スレドモ、日ヲ經ルニ從ヒテ恢復シ、大約術後第四日ヨリ同第十二日ノ間、即チ術後第七日前後ニ於テ舊ニ

復スルヲ見タリ、之即チ性慾恢復ノ經過ト少シク趣ヲ異ニセル所ナリトス。而シテ此ハ一側ニ手術ヲ行ヘルト、兩側ニ手術ヲ行ヘルト、又一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ他側ノ辜丸ヲ摘出セルトニ論ナク、等シク認メラルル所ナリトス。而シテ其ノ後ニ於ケル變化ハ唯身體ノ成長スルト共ニ、對照鼠ニ於ケルト同ジク攝食量ノ増加スルヲ見タルノミ。生體染色ハ殆ド食慾ニ大ナル影響ヲ及ボサザリキ。サレド全身麻醉ハ多少共之ニ惡影響ヲ及ボスヲ見タリ。

(3) 體重ノ變化

體重ハ術後餘リ減少セザルモノモアレドモ、其ノ多クニ於テ減少シ、術後第五日頃ヨリ同第十二日前後ニ於テ舊ニ復スルヲ見ル、サント茲ニ注意スベキハ、一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ、他側ノ辜丸ヲ摘出セルモノニ於テ（第十六例參照）、術後他ノ例ニ於テ尙ホ手術ニヨリテ減少セル體重ノ恢復セザル短期間ニ、已ニ急激ナル増加ヲ見タルコトナリトス。而シテ生體染色ハ之ニ何等ノ惡影響ヲ及ボサザリキ。

(4) 毛髮ノ變化

手術後毛髮ノ異常ナル新生竝ニ脱落ヲ認メズ、手術ニ際シテ削除セル腹壁ノ毛髮ハ術後約三十日ニシテ他部ノ夫レト同長トナレリ。

(5) 其ノ他ノ一般生活現象ノ變化

手術後四、五日間ハ手術ニヨル全身疲勞ニヨリテ元氣稍々沈衰セルモ、間モナク舊ニ復シ、術後第七、八日ニシテ殆ド術前ニ歸レルヲ見タリ。之一側ニ手術ヲ行ヘルト、兩側ニ手術ヲ行ヘルト及ビ一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ他側ノ辜丸ヲ摘出セルトニ論ナク、等シク認メラレタル所ニシテ、各其ノ性慾恢復速度ニ遲速アルニ徴シ、興味アルコトナリトス。而シテ生體染色ハ試驗獸ノ一般生活現象ヲ沈衰セシメザリキ、サレド全身麻醉ハ之ニ惡影響ヲ及ボスヲ見タリ。

(6) 辜丸、副辜丸及ビ二次的性徵ノ肉眼的變化

手術後第三十五日迄ノ觀察ニヨレバ、手術側ノ辜丸、副辜丸ハ著シク萎縮シテ大約術前ノ二分ノ一トナリ、同側辜丸附屬脂肪體之ニ準ジテ著シク萎縮セリ、サレド同側副辜丸ハ萎縮度左様ニ甚シカラズ。精囊ハ輕度ニ萎縮シ、攝護腺ハ輕度乃至中等度ニ萎縮セリ。反之、手術後第百十八日迄ノ觀察ニ於テハ、手術側辜丸、副辜丸竝ニ辜丸附屬脂肪體ノ所見ハ前者ト同様ナレドモ、攝護腺竝ニ精囊ハ著シク發育シテ術前ノ夫レヨリ増容シ、殊ニ後者ハ其ノ手術側ノ辜丸ニ

於テ間細胞ノ著シク増殖セル時(後章睾丸ノ組織學的検査ノ條下参照), 正常以上ノ大サニ達セルヲ見タリ. 非手術側ノ睾丸, 副睾丸竝ニ睾丸附屬脂肪體ハ術後第三十五日迄ノ觀察ニヨレバ術前ノ大キサト大差ナシ, サレド同第百十八日迄ノ觀察ニヨレバ, 著シク術前ヨリ其ノ大サヲ増加セリ. サレド正常以上ニハ達セズ.

要之, 青年鼠ニ於テハ術後一定期間ハ性欲竝ニ其ノ他ノ身體的, 精神的機能沈衰セルモ, 間モナク舊ニ復シ, 後正常ナル状態ヲ保チテ經過セリ. サレド一定時日ノ後睾丸間質ニ於ケル間細胞ノ著シク増殖セルモノニ於テハ(後章組織篇参照), 其ノ性欲ニ於テ異常ナル亢進ヲ生來セリ.

第四目 對照實驗

余ハ老鼠竝ニ壯年鼠ニ於テ試ミタルト同ジク, 其ノ兩側内精系動脈ヲ結紮シ, 或ハ兩側蔓狀靜脈叢ヲ結紮シ, 或ハ手術野ヲ剝離シテ其ノ後ニ於ケル生物學的所見ノ變化ヲ見タルガ, 何レモ術後著シク性欲ノ低下ヲ來シテ一側ノ睾丸, 副睾丸間ヲ結紮セルモノニ於テ認メタルガ如ク, 術後第十五日乃至第二十日ニシテ性欲ノ舊位ニ復シ, 及ビ兩側ニ手術ヲ行ヘルモノニ於テ見タルガ如ク同第二十日乃至第二十八日ニシテ同ジク性欲ノ舊位ニ復スルガ如キヲ見ズ, 其ノ未ダ著シク低劣ナルヲ見タリ, 之即チ睾丸ノ組織學的檢索ニヨリテ明カナルガ如ク, 睾丸間質ニ於ケル間細胞ノ血行障礙ニヨリテ, 著シク其ノ機能ヲ胃カサルルガ故ナリ.

第五目 先人ノ實驗結果トノ比較

先人ノ實驗中其ノ代表的ナル二, 三ト比較講究スベシ.

Tiedje 氏實驗結果トノ比較

Tiedje ハ十七頭ノ海猿ニ就キテ Steinach ノ所謂若返リ法 Verjüngungsversuche ヲ追試シ, 其ノ生物學的觀察ノ所見ヲ述ベテ曰ク, 試驗獸ハ睾丸ニ於ケル造精組織ノ退行變性ニ陥ル時, 即チ術後間モナク性欲昇騰シ, 爭鬪性 Kampflust 強烈トナリ, 毛髮ヨリ美麗且軟トナレドモ, 術後一箇月乃至二箇月ニシテ即チ睾丸間質ニ於ケル間細胞ノ著シク増殖セル時期ニ於テ, 此ノ現象消失シ, 却テ試驗獸ハヨリ怠惰トナリ, 後精蟲發生 Spermatogenese ノ再現スルニ及ビテ, 此等諸性状ハ正常ニ歸ル. 而シテ體重ハ之ト稍々趣ヲ異ニシ, 造精組織ニ於ケル退行性變化ノ出現時竝ニ精蟲發生再生ノ初期ニ於テ著シク減量シ, 精蟲發生ノ完

成スルニ及ビテ對照鼠ノ體重曲線ト一致スト謂フ。約言スレバ同氏ハ術後一過性ニ性慾及ビ爭鬪性ノ増進竝ニ毛髮性狀ノ新生ヲ認メタルガ、斯クノ如キハ余ノ嘗テ青年鼠ニ於テ認メザル所ニシテ、殊ニ其ノ毛髮ノ手術前ヨリ美麗且軟トナレリト稱スルニ於テハ、老海猿乃至壯年海猿ナラバイザ知ラズ、更ニ慎重ナル追試ヲ要望スルモノナリ。何トナレバ成熟セル健康試験獸ニ於テハ、其ノ毛髮ノ更ニ美麗且軟トナルガ如キハ到底信ゼラレザルモノニシテ、若シ夫レ手術前ニ於ケル試験獸ノ看護ニシテ惡シカリシ爲メ、毛髮ノ汚染乃至硬化シ、術後ニ於ケル庇護ノ宜シキ爲メ、外觀上斯クノ如キ變化ヲ來セルニハ非ザルナキヤ、且海猿ニ於テモ一定ノ期間、即チ二十日乃至二十五日ノ週期ヲ以テ其ノ成熟雌獸ニ起水(Oestrus)ノ發來シ、此ノ期間ノミ雌獸ハ性的ニ亢奮シテ交尾ヲ甘受スルモノニシテ、加之、此ハ多ク夜間ニ於テ發來スルモノナルガ故ニ、同氏ガ性慾試験ニシテ缺陷ナキヲ保セズ、且用キラレタル試験獸ノ年齢モ假令成熟セリト稱スルトハ謂ヘ種々ナル差異アルベシ。依リテ更ニ同學者ノ追試ヲ期待スルモノナリ。

其ノ他大黒鼠ニ就キテ輸精管或ハ辜丸、副辜丸間ヲ結紮セルモノニ、最近 Romeis, 中田, 中院, 町田ノ諸氏アレドモ、何レモ皆其ノ性慾試験ニ於テ缺クル所多ク、殊ニ中田氏ノ記載ニ由レバ、氏ハ『性慾試験ハ常ニ細心ニ反覆シ、必ズ雌性ノ健康雄性ニヨリテ性慾動作ヲ惹起セラレシモノノミヲ選ビ、雄性(試験)動物ノ檻ニ入レ、大黒鼠ヲ驚カシムル事ナキ爲メノ細心ノ注意ノ下ニ行ヒシモ、屢々解釋困難ナル動作ニ會スルヲ以テ、交尾ヲ遂ゲタルモノハ確實ナル性慾存在ノ證トナシタレドモ、陰性必ズシモ絶對ニ性慾ノ消滅ノ確證タラズ云々』トアレドモ、此ハ畢竟成熟雌鼠ニ一定ノ週期ヲ以テ發來スル性慾亢進期、即チ起水期 The period of Oestrus ノ在ルヲ知ラザルノ言ニシテ、此ノ期以外ハ決シテ雌鼠ハ雄鼠ノ交尾ヲ甘受スルコトナク、每常其ノ能動的行爲ヲ忌避シ、假令其ノ雄鼠ノ頸部或ハ頭部ノ毛髮ヲ舐メテ愛着ノ情ヲ示スコトアリト雖モ、其ノ一旦能動的行爲ニ出ヅル時ハ、忽ニシテ叫聲ヲ發シテ之ヲ忌避スルモノナリ、斯ルガ故ニ氏ノ記載ニ見ルガ如ク、健康雄鼠ニヨリテ性慾動作ヲ惹起セラレシ雌性トハ如何ナル意味ナルヤ解スル能ハズ、之余ガ大正十一年四月三日、京都ニ於テ開催セラレタル日本外科學會總會席上ニ於テ町田氏ニ對スル討論ニ際シ警告セル所ニシテ、又中田氏ノ追加セルガ如ク、晝間不自然ナル方法、即

チ動物小屋ヲ暗クシテ性慾試験ヲ行フガ如キハ徒勞ト謂フベシ。即チ知ル、氏ハ斯クノ如ク性慾試験ヲ晝間ニ行ヒシガ故ニ、其ノ得タル結果トシテ性慾ハ術後短期間ニ或ハ屢々亢進シ、或ハ健康状態ヲ變セズ、或ハ漸次衰退シテ去勢動物ト選ブ所ナキニ至レリト謂ヘルハ故ナキニ非ザルナリ。而シテ之ニ加フルニ試験獸ノ年齢的差異、就中壯年鼠ニ對スル注意ノ拂ハレザリシモ其ノ一因ト看做スベキカ。

第六目 結 論

(一) 青年鼠ノ辜丸、副辜丸間ヲ結紮スル時ハ、辜丸ノ内分泌機能ニ變化ヲ來タシ、性慾ハ一定時日低下ス、而シテ後次第ニ恢復シテ舊位ニ歸ル、更ニ其ノ辜丸間質ニ於ケル間細胞ノ増殖スルニ及ンデ異常ニ昂進スルモノナリ（後章組織篇參照）。

(二) 一側ニ手術ヲ行ヘルモノハ、術後約十五日乃至二十日ニシテ舊ニ復シ、兩側ニ手術ヲ行ヘルモノハ、同約二十日乃至二十八日ニシテ恢復シ、一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ他側ノ辜丸ヲ摘出セルモノハ、同約三十日乃至三十五日ニシテ舊ニ復セリ。即チ知ル一側ノ辜丸、而モ夫ハ造精組織ヲ著シク退化セシメタル辜丸（後章組織篇參照）ニヨリテモ、術後一定時日ヲ經過セバ舊高度ノ性慾ヲ保チ得ルコトヲ。

(三) 術後一定期間例之五十一日（第十三例）經過セルモノニシテ、其ノ著シキ間細胞ノ増殖ヲ見タルモノニ於テ（後章組織篇參照）、異常ナル性慾ノ昂進ヲ見タリ。

(四) 術後性慾ノ低下スルト同時ニ試験獸ノ一般身體的、精神的機能モ低下シ、術後約一週日ニシテ舊ニ復ス、之即チ性慾ノ恢復速度ト聊カ其ノ趣ヲ異ニセル所ニシテ、興味アルコトナリ。但シ體重減量ノ恢復ハ二、三日遅ルルコトアリ。尙ホ一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ他側ノ辜丸ヲ摘出セルモノニ於テ、時トシテ術後短時日ニ脂肪ノ增多ニ因スル體重ノ迅速ナル増量ヲ認メタリ。

(五) 手術側ノ辜丸、副辜丸及ビ辜丸附屬脂肪體ハ夫々度ヲ異ニシテ萎縮シ、精囊及ビ攝護腺亦萎縮セリ、サレド術後二十日以上ニシテ辜丸ニ於ケル間細胞ノ機能恢復スルト共ニ、且其ノ増殖ヲ見タル場合ニ於テハ（後章組織篇參照）、其ノ大サヲ増加セルヲ認メ、殊ニ此ハ後者ニ於テ大ナリキ。

(六) 對照タル兩側内精系動脈、或ハ兩側蔓狀靜脈叢ヲ結紮セルモノニ於テ

ハ、術後性欲恢復速度極メテ遅タクルヲ見タリ、之即チ睾丸間細胞ノ胃サルルガ故ナリ。

(七) 生體染色ハ其ノ性欲竝ニ一般生活現象ニ大ナル影響ヲ及ボサザリシガ、其ノ都度施セル「エーテル」半麻醉ハ其ノ度ノ重ナルニ從ヒテ之ニ惡影響ヲ及ボセリ。

第五項 幼年鼠ニ於ケル觀察

余ハ生後一箇月乃至一箇月半ノ幼若大黒鼠二十三頭ニ就キ、同様ニ睾丸、副睾丸間ヲ結紮シテ、其ノ後ニ於ケル生物學的所見ノ變化ヲ見タルガ、之ニ於テハ術後單ニ手術ニヨル全身疲勞ニヨリテ、其ノ身體的、精神的機能ノ約一週間衰退スルヲ見タルノ外ハ、何等記スベキコトナシ、依リテ之ガ例ヲ追ヘル記載ハ冗長ニ流ルルヲ以テ省略スベシ。サレド斯克ノ如ク一側乃至兩側ニ手術ヲ施シタル幼若雄鼠ノ、一旦春機發動期ニ入ランカ、其ノ生物學的所見ニ如何ナル變化ヲ來スベキヤ否ヤニ付テハ、未ダ多ク其ノ例ヲ重ネザルガ故ニ、茲ニ斷言スルコトヲ憚レドモ、余ノ見タル四例ニ於テハ其ノ際何等ノ變化ナキガ如シ。

第六項 綜括的結論

一、大黒鼠ニ於テハ其ノ睾丸、副睾丸間ヲ結紮スル時ハ青年鼠、壯年鼠及ビ老鼠ノ睾丸内分泌機能ニ變化ヲ來タシテ、其ノ生物學的所見ニ變徵ヲ呈スルモノナリ、而シテ其ノ變化ノ模様ハ年齢ヲ異ニスルニヨリ、手術方法ヲ異ニスルニヨリ及ビ個獸ニヨリテ差異アリ。

二、老鼠ニ於テハ術後四、五日ヨリ一過性ニ性欲、食慾、毛髮ノ發生機轉及ビ其ノ他一般生活現象、即チ身體的、精神的機能ノ異常ナル昂進乃至新生ヲ來タシ、同第十五日乃至第二十五日前後ニ於テ其ノ再ビ低下シ、後術前ニ比シテ頓ニ其ノ老衰度進行シテ所謂再現セル第二老年ニヨリ對照老鼠ニ比シテヨリ早ク死ノ轉機ヲ取レリ。即チ老鼠ハ該期間著シク性欲亢進シテ、術前ニ於ケル異性ニ對スル完全ナル無關心乃至弱キ興味及ビ陰萎ハ全ク消失シ、陰莖ハ極度ニ勃起シテ化粧慾増進シ、幼若雌鼠ヲ強姦乃至同性鼠ヲ鷄姦シテ雌雄ヲ辨別セズ、其ノ亢進度ニ於テ實ニ驚クベキモノアリ、且其ノ間對照老鼠ニ比シテ約二倍半ノ多量ヲ攝食シ、不活潑ナリシ行動ノ活潑多動トナリ、猫背ナリシ姿勢ノ反身トナリ、蹣跚ナリシ歩行ノ堅實トナリ、外界ニ對スル反應ノ鋭敏トナリ、異性ニ對スル注意ノ敏感トナリ、疲勞セル眼ノ明カニ開カレ、貧血ナリシ皮膚竝ニ

粘膜ノ其ノ度ヲ恢復シ，老人性呼吸ノ消失シ，爭鬪心ノ復活及ビ既存セル毛髮及ビ新ニ生長セル腹壁(手術野)毛髮ノ性狀ノ新生スル等，所謂若返リ現象トシテ舉グベキモノ多シ。サレド此等所謂若返リ現象モ試験獸ヲ異ニスルニヨリ，年齢ヲ異ニスルニヨリ，老衰進行ノ度ヲ異ニスルニヨリ及ビ手術方法ヲ異ニスルニヨリテ其ノ強度ヲ異ニシ，一般ニ一側ニ手術ヲ行ヘルモノヨリモ，兩側ニ手術ヲ行ヘルモノニ於テヨリ強度ナルヲ見ル。而シテ一側ニ手術ヲ行ヘルト同時ニ，他側ノ辜丸ヲ摘出セルモノニ於テハ，若返リ度著シカラズ，且餘リニ老衰セルモノモ同様ナルヲ見タリ。二次的性徴，就中精囊，攝護腺ハ若返リ期間肥大セザリキ。

三，壯年鼠(壯年後期ニ在ルモノ)ニ於テハ，術後短時日間(四，五日)ハ其ノ性慾及ビ其ノ他ノ身體的，精神的機能著シク減退スレドモ間モナク舊ニ復シ後一定時日ヲ經テ兩者，殊ニ性慾ノ異常ナル一過性昇騰ヲ來タシ，後術前ノ高度ヲ保テテ經過セリ(術後第四十日迄)，即チ一側ニ手術ヲ行ヘルモノハ，性慾約術後八日乃至十四日ニシテ恢復スルト共ニ，同第十二日乃至第二十五日ニ互リテ異常ナル一過性昂進ヲ來タシ，兩側ニ手術ヲ行ヘルモノニ於テハ同第十五，六日ニシテ恢復シテ，同第二十一日乃至第二十九日ニ互リテ一過性ニ昇騰スルヲ見ル。而シテ其ノ他ノ一般生活現象ハ術後約一週日ニシテ恢復シ，後性慾ノ昇騰スルト共ニ同ジク一過性ニ昇騰シテ食慾亢進シ，體重増加シ，毛髮若返リ，元氣ノ増進シ，且貧血恢復ス。サレド紋上ノ變化モ試験獸ヲ異ニスルニヨリ，年齢ヲ異ニスルニヨリ及ビ手術方法ヲ異ニスルニヨリテ其ノ昇騰度ヲ異ニスルモノナリ。而シテ本壯年鼠ニ由ル所見ハ Steinach 氏ノ所謂若返リ法ニ於ケル老鼠ノ所見ニ酷似ス。

四，青年鼠ニ於テハ術後短時日間(一週間)ハ性慾及ビ其ノ他身體的，精神的機能著シク減退スレドモ間モナク舊ニ復シ，後，正常ナル状態ヲ以テ經過ス，サレド術後一定時日ヲ經テ辜丸ニ於ケル間細胞ノ著シク増殖スル時ハ(後章組織篇參照)，異常ナル性慾ノ昂進ヲ見タリ。即チ一側ニ手術ヲ行ヘルモノハ，性慾ハ術後約十五日乃至二十日ニシテ舊位ニ歸リ，兩側ニ手術ヲ行ヘルモノハ，同約二十日乃至三十五日ニシテ恢復セリ，而シテ其ノ他ノ身體的，精神的機能ハ同約一週日ニシテ恢復セリ。二次的性徴，就中精囊及ビ攝護腺ハ術後第四十日迄ノ觀察ニヨレバ，未ダ尙ホ肥大セザレドモ，術後一定時日，例之，八十八

日ヲ經テ辜丸ニ於ケル間細胞ノ著シク増殖セルモノニ於テハ(後章組織篇參照),
健康鼠ノ平均大ヨリヨリ大トナレリ。

五, 幼年鼠ニ於テハ術後約一週間手術ニヨル全身疲勞ニヨリテ, 其ノ身體的,
精神的機能ノ沈衰スルヲ見タルノミ, 其ノ他ニ著變ナシ。

六, 余ハ青年鼠ニ於ケル實驗ニ於テ, 一側ノ辜丸, 副辜丸間ヲ結紮スルト共
ニ, 他側ノ辜丸ヲ摘出セルガ, 斯カル結紮辜丸, 即チ其ノ精細胞ヲ著シク潰滅
シタル辜丸(後章組織篇參照)ノミニヨリテモ, 術後一定時日, 即チ三十日乃
至三十五日ヲ經過セバ, 其ノ性慾, 性徵ノ依然トシテ術前ノ高度乃至狀態ニ保
タルヲ見タリ。而シテ斯カル手術ヲ施セル青年鼠ニ於テハ, 時ニ術後短時日
ニシテ著シク脂肪增多ヲ生來スルモノアルヲ認メタリ。

七, 生體染色ハ(壯年鼠及ビ青年鼠ニ於テハ)其ノ性慾竝ニ其ノ他一般生活
現象ニ餘リ影響ヲ及ボサザリシモ, 其ノ都度施セル「エーテル」半麻醉ハ多少共
之ニ惡影響ヲ及ボシタリ。殊ニ壯年鼠ニ於テ其ノ影響ノヨリ大ナルヲ見ル。

八, 對照トシテ, 老鼠, 壯年鼠及ビ青年鼠ニ就キ, 其ノ兩側內精系動脈ヲ結
紮シ, 或ハ其ノ兩側蔓狀靜脈叢ヲ結紮セルモノハ, 何レモ術後著シキ性慾ノ低
下ヲ招來シテ, 三者ニ見ルガ如ク, 夫々時期ヲ異ニシテ術後一過性或ハ持續的
ニ性慾及ビ其ノ他一般生活現象ノ昇騰スルガ如キヲ認メザリキ。

附記 詳細ハ老鼠, 壯年鼠及ビ青年鼠ニ於ケル觀察ノ條下ノ實驗例ノ所見概
括及ビ結論ヲ參照セラレタシ。

(未完)